



中村素子議員



塩田康一鹿児島県知事



長島本島から望む獅子島

構想から実現へ ～長島町の動き～

川添健町長は、令和3年度の施政方針で夢のある「2つの大型架橋構想」を述べました。1つは、長島町と熊本県天草半島、長崎県島原半島を結ぶ「三県架橋」です。この構想は、有明海・八代海沿岸地域を結ぶ広域交通網として、九州新幹線や空港などと一体となった新たな広域観光を生み出し、さまざまな経済効果をもたらすことが期待されます。

熊本地震のような大規模災害時には、緊急避難道路としての活用や復旧・復興支援物資などを輸送する「命の道」としての機能も有することになります。架橋実現のために、長島町と周辺自治体は連携して国・県への要望活動などを重ねていきます。

大型橋構 大架橋

獅子島架橋について

中村議員 獅子島架橋の実現に向け、知事の見解を。

塩田知事 獅子島架橋については、長島町での「ふれあい対話」の場で町民の大変熱い思いを直接伺った。

町において、「夢追い獅子島架橋基金」の積み立てが行われるなど、地元からの強い要望があることも承知している。

架橋建設は、甌大橋と同じように、獅子島に住むかたがたの防災・医療・福祉や農業・漁業・観光の産業振興などに貢献するものと考えている。

一方、架橋の実現に当たっては、多額の事業費が必要で、国や地方の厳しい財政状況の中、越えなければならぬ課題もあるが、架橋に対する地元の方々の強い思いを、しっかりと国にも伝えていきたいと考えている。

構想から実現へ ～長島町の動き～

令和3年「第1回鹿児島県議会定例会」の一般質問では、地元選挙区の中村素子議員が三県架橋と獅子島架橋について、塩田康一鹿児島県知事に質問しました。

三県架橋について

中村議員 三県架橋(島原・天草・長島架橋)の実現に向け、特に架橋で期待される経済効果を含めて、経済産業省出身の知事の見解は。

塩田知事 三県架橋については、九州新幹線、空港、港湾など一体となって、東アジアをはじめとする国際的な交流基盤を形成するほか、大規模災害時における広

域的な避難道路の機能を有するなど、九州の一体的な浮揚を図る上でも、大変夢のある重要な構想と考えている。

この構想により、例えば、長崎市から鹿児島市までの移動時間が大幅に短縮され、九州西岸軸ルートの形成による新たな広域観光ネットワークの創出など、さまざまな経済効果が期待されると考えている。

県としては、これまでも長崎、熊本両県や各地元期成会と連携し、構想推進地方大会、関係地域の小学生が参加するサッカー大会の開催など、地域間の積極的な交流を促進し、機運の醸成に努めてきている。

今後とも、三県の緊密な連携の下、このような取り組みを着実に推進しつつ、構想の実現に向け、国に対し積極的に要望を行っていききたい。